

## 生命医科学研究科人材養成の目的

生命医科学研究科博士課程(前期)は、生命科学を中心とした医工学・医情報学並びに医科学の知識や技術について、生体情報の正確な計測と生体機能の工学的具現化に関する研究と、生命維持の機構とヒト疾患の発病機構に関する研究をとおして、工学と医学を基盤にした総合的な研究能力を身に付けて、高度化する医学や医療における諸課題に対応できる柔軟な総合力と即戦力を有する専門技術者並びに科学者を養成することを目的とする。

生命医科学研究科医工学・医情報学専攻博士課程（前期）は、生命科学を中心とした医工学並びに医情報学の知識や技術について、生体情報の正確な計測と生体機能の工学的具現化に関する研究をとおして、工学と医学を基盤にした総合的な研究能力を身に付けて、医療技術産業のみならず幅広い産業分野でその基幹を支えて活躍できる中核的技術者を養成することを目的とする。

生命医科学研究科医生命システム専攻博士課程（前期）は、生命科学を中心とした医科学の知識や技術について、生命維持の機能とヒト疾患の発病機構に関する研究をとおして、工学と医学を基盤にした総合的な研究能力を身に付けて、創薬や食品を中心とした健康医療分野並びにその周辺医療技術分野産業の高度化に貢献できる専門科学者を養成することを目的とする。

生命医科学研究科博士課程(後期)は、生命科学を中心とした医工学・医情報学並びに医科学の先端研究について、関連する先進的な諸研究への能動的な参画をとおして、知識と技術を質的量的ともに深め、独創的な研究法や学問分野を創造する能力を身に付けて、生命の本質を科学的に解明しその成果を社会に還元することにより、生命医科学分野の発展に寄与し、国際的に高く評価される専門技術者、科学者を養成することを目的とする。

生命医科学研究科医工学・医情報学専攻博士課程（後期）は、生命科学を中心とした医工学並びに医情報学の知識や技術について、関連する諸研究への能動的な参画をとおして、知識と技術を質的量的ともに深め、工学技術を的確に医療技術へと展開できる能力を身に付けて、基幹産業分野で次世代を先導する技術者として、あるいは大学や各種研究機関において、わが国の高度医療技術研究を先導し、国際的に高く評価される研究者を養成することを目的とする。

生命医科学研究科医生命システム専攻博士課程（後期）は、生命科学を中心とした医科学の知識や技術について、関連する諸研究への能動的な参画をとおして、知識と技術を質的量的ともに深め、高度な生命医科学知識を高度医療へ展開できる能力を身に付けて、大学や公的研究機関あるいは医療技術関連企業において、わが国の高度医療技術研究を先導し、国際的に高く評価される科学者・研究者を養成することを目的とする。